

リスクモンスター株式会社

(東証第二部 : 3768)

2018年3月期 第2四半期 決算補足資料



2017年11月14日



目次

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 2018年3月期 第2四半期 重点施策・取り組み (P.2) | 21. 株主のための施策 ① (P.22) |
| 2. 決算サマリー (P.3) | 22. 株主のための施策 ② (P.23) |
| 3. 業績推移(四半期) (P.4) | 23. 企業概要 (P.24) |
| 4. 連結セグメント別業績 (売上高) (P.5) | IRに関するお問合せ (P.25) |
| 5. 連結セグメント別業績 (利益) (P.6) | 【補足】『オーディオラーニング』のご紹介 (P.26) |
| 6. 与信管理サービス等 業績 (P.7) | 【補足】『J-MOTTO Web勤怠』のご紹介 (P.27) |
| 7. ビジネスポータルサイト 業績 (P.8) | |
| 8. BPOサービス 業績 (P.9) | |
| 9. その他サービス 業績 (P.10) | |
| 10. 会員数推移(四半期) (P.11) | |
| 11. 連結貸借対照表 (P.12) | |
| 12. RM財務格付による財務分析 ① (P.13) | |
| 13. RM財務格付による財務分析 ② (P.14) | |
| 14. 連結キャッシュ・フロー (P.15) | |
| 15. 企業理念と長期ビジョン (P.16) | |
| 16. 『第5次中期経営計画(2016~2018年度)』全体的な基本方針 (P.17) | |
| 17. 『第5次中期経営計画(2016~2018年度)』事業別の基本方針 (P.18) | |
| 18. 2018年3月期 業績予想 (P.19) | |
| 19. 譲渡制限付株式報酬制度の導入 (P.20) | |
| 20. 自己株式の取得・消却 (P.21) | |



1. 2018年3月期第2四半期 重点施策・取り組み



1Q

2Q

採用支援サービス『ReferMe(レファミー)』
取り扱い開始

図書総合管理サービス『名館長クラウド』
雑誌管理機能追加

譲渡制限付株式報酬制度の導入

クラウド型勤怠管理サービス『J-MOTTO Web勤怠』
提供開始

格付ロジック改定

eラーニング『コンプライアンス』関連
2コース 提供開始

eラーニング『製造／物流』関連
5コース 提供開始

オーディオラーニング『聴くだけで学べる ビジネスマナー』
提供開始

eラーニング『目指せ！TOEIC(R) L&R対策コースシリーズ』
6コース 提供開始

海南紐康情報システム有限公司の株式取得

将来の株式の希薄化懸念を払拭することを目的とし、
全ての自己株式を消却
(105,000株、消却前の発行済み株式総数に対する割合2.6%)

リスモン業界レポート 調査結果発表

- 第12弾 「 飲食料品卸売業 」
- 第13弾 「 不動産取引業 」
- 第14弾 「 鉄鋼業 」

- 第15弾 「 パルプ・紙・紙加工品製造業 」
- 第16弾 「 金属製品製造業 」
- 第17弾 「 設備工事業 」

リスモン調べ 調査結果発表

- 第4回 「 離婚したくなる亭主の仕事 」
- 第5回 「 世界に誇れる日本企業 」
- 第4回 「 100年後も生き残ると思う日本企業 」
- 第3回 「 大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング 」

- 第7回 「 格付ロジック改定によるRM格付変動の影響 」
- 第5回 「 金持ち企業ランキング 」
- 第2回 「 合コンしたいと思う企業ランキング 」

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減額	前期比
売上高	1,349,080 千円	1,423,246 千円	74,166 千円	105.5 %
営業利益	205,167 千円	218,364 千円	13,196 千円	106.4 %
経常利益	209,055 千円	225,893 千円	16,838 千円	108.1 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	130,832 千円	142,609 千円	11,777 千円	109.0 %
1株当たり四半期純利益(EPS)	33.18 円	36.65 円	3.47 円	110.5 %
会員数	10,549 ID	10,920 ID	371 ID	103.5 %
自己資本四半期純利益率(ROE)	3.2 %	3.4 %	0.2 ポイント	106.3 %

(注) ROEは第2四半期(6か月間)の業績で算出しております。

◆売上高

主力の与信管理サービス等が順調であり、他のセグメントも堅調に推移したため、前年同期を上回る。

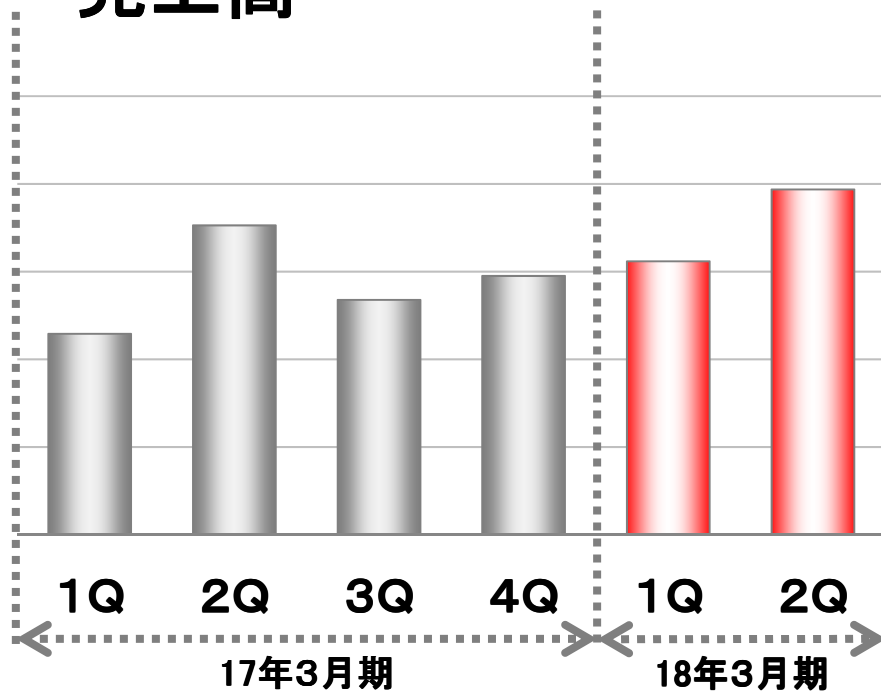
◆利益

一部のセグメントにおいて先行投資が発生したものの、主力の与信管理サービス等の利益の増加が寄与。

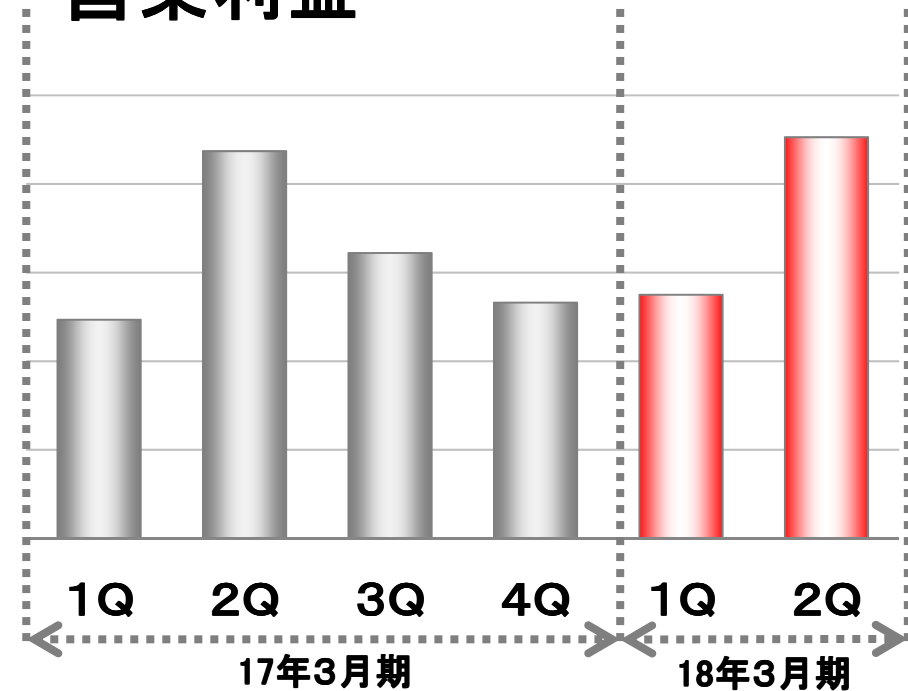
(単位：千円)

	2017年3月期				2018年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	637,440	711,639	660,631	677,028	687,027	736,219
営業利益	74,050	131,117	96,630	79,853	82,508	135,856

売上高



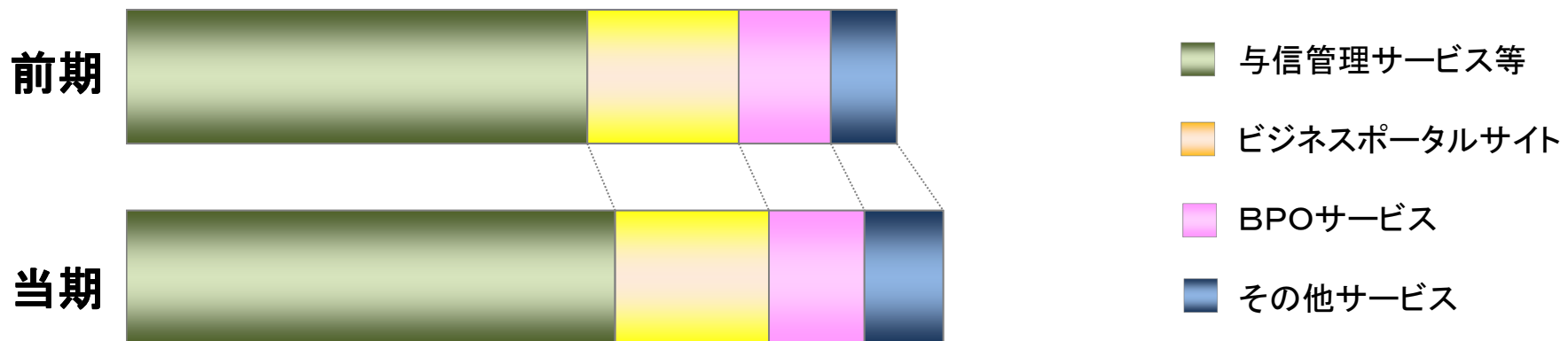
営業利益



（単位：千円）

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	846,003	897,043	51,039	106.0%
ビジネスポータルサイト	277,981	282,409	4,428	101.6%
BPOサービス	169,130	175,431	6,301	103.7%
その他サービス	120,964	144,645	23,681	119.6%
調整額（注）	△64,998	△76,282	△11,284	—
売上高 計	1,349,080	1,423,246	74,166	105.5%

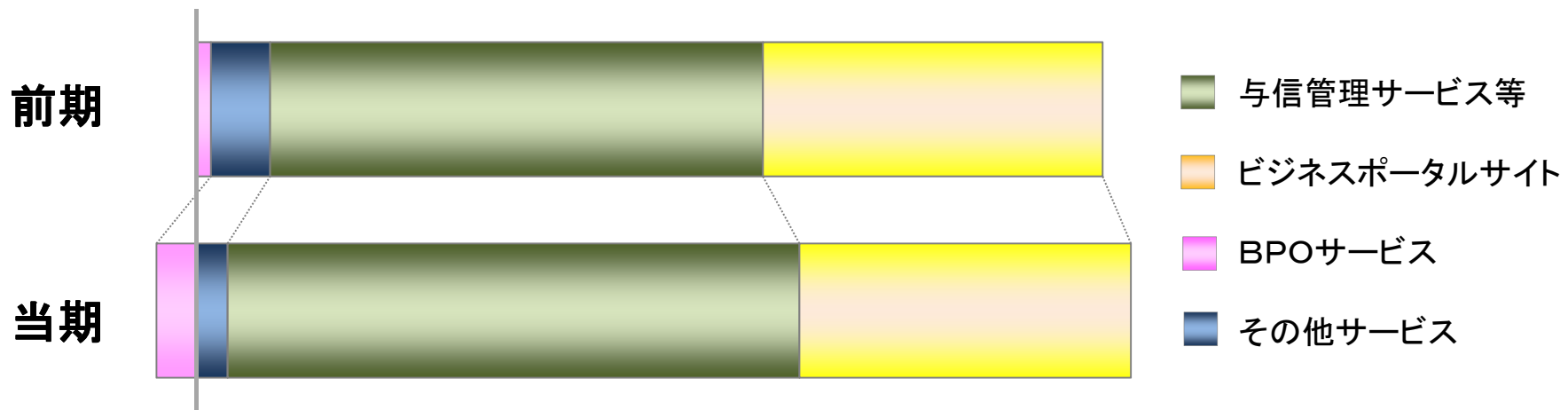
（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



（単位：千円）

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	139,817	162,226	22,408	116.0%
ビジネスポータルサイト	96,371	94,029	△2,341	97.6%
BPOサービス	4,136	△11,332	△15,468	—
その他サービス	16,789	8,869	△7,919	52.8%
調整額（注）	△51,946	△35,428	16,517	—
セグメント利益 計	205,167	218,364	13,196	106.4%

（注）調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。



(単位：千円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	693,489	711,294	17,805	102.6%
コンサルティングサービス (注2)	152,513	185,748	33,234	121.8%
売上高 計	846,003	897,043	51,039	106.0%
セグメント利益	139,817	162,226	22,408	116.0%
会員数 (ID) (注3)	5,379	5,683	304	105.7%

(注1) 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、約440万社の企業情報と企業の信用力を定量化した与信情報を、インターネット経由で提供するサービス

(注2) ポートフォリオサービス及びマーケティングサービス、金融サービス等を含むその他サービス

(注3) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互連携を行う提携会員の合計

◆売上高

与信管理サービス等全体で前年同期を上回る。

- ・会員数、従量制サービスの利用の増加に伴い、利益率の高いASP・クラウドサービスが堅調に推移
- ・コンサルティングサービスは、ポートフォリオサービスの受注単価・件数の増加に加え、金融サービス等を含むその他が好調

◆セグメント利益

売上高の増加が寄与し、前年同期を上回る。

- ・セグメント利益率 16.5% → 18.1%

(単位 : 千円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	253,909	258,365	4,456	101.8%
その他 (注2)	24,071	24,043	△27	99.9%
売上高 計	277,981	282,409	4,428	101.6%
セグメント利益	96,371	94,029	△2,341	97.6%
会員数 (ID) (注3)	3,051	3,033	△18	99.4%
ユーザー数	126,332	128,204	1,872	101.5%

(注1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス

(注2) ホスティングサービス等を含むその他サービス

(注3) 「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

◆売上高

ディスク容量の利用が堅調に推移したこと等により、前年同期を上回る。

◆セグメント利益

新サービスのマーケティング費用が発生したため、セグメント利益は前年同期を下回る。



8.BPOサービス 業績



(単位 : 千円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減額	前期比
デジタルデータ化等 BPOサービス	169,130	175,431	6,301	103.7%
売上高 計	169,130	175,431	6,301	103.7%
セグメント利益	4,136	△11,332	△15,468	—

◆売上高

主力のデジタルデータ化等BPOサービスが堅調に推移したことに伴い、売上高は前年同期上回る。

◆セグメント利益

受注案件に関する初期の運用費用が発生したため、セグメント損失となる。

(単位：千円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減額	前期比
「教育関連事業」等を含む その他サービス	120,964	144,645	23,681	119.6%
売上高 計	120,964	144,645	23,681	119.6%
セグメント利益	16,789	8,869	△7,919	52.8%
会員数(ID) (注)	2,119	2,204	85	104.0%

(注) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」と中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

◆売上高

- ・教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が1,658会員となり堅調に推移。
- ・利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は546会員となる。売上高は、中国信用調書の利用が好調。

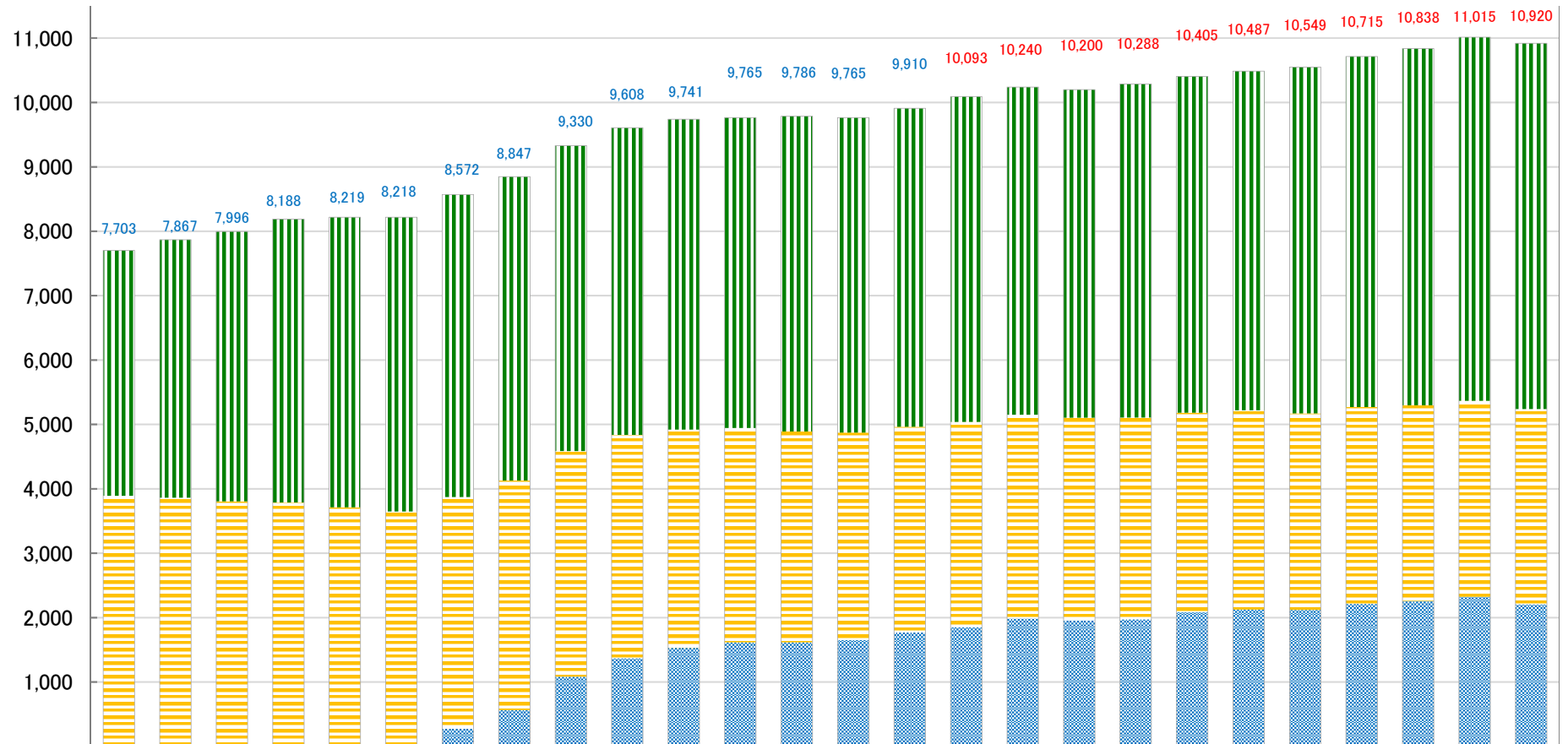
◆セグメント利益

教育関連事業において、教育コンテンツの先行投資費用が発生したため、前年同期を下回る。



10. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)



	2011年			2012年			2013年			2014年			2015年			2016年			2017年							
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月				
与信管理サービス等	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820	4,897	4,892	4,947	5,055	5,090	5,097	5,182	5,223	5,267	5,379	5,446	5,541	5,650	5,683
ビジネスポータルサイト	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330	3,273	3,221	3,195	3,191	3,166	3,147	3,134	3,098	3,096	3,051	3,057	3,039	3,042	3,033
その他サービス(注2)	-	-	-	-	-	-	272	563	1,081	1,367	1,530	1,615	1,616	1,652	1,768	1,847	1,984	1,956	1,972	2,084	2,124	2,119	2,212	2,258	2,323	2,204
会員数計	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608	9,741	9,765	9,786	9,765	9,910	10,093	10,240	10,200	10,288	10,405	10,487	10,549	10,715	10,838	11,015	10,920

(注1) 上記は重複登録している会員が一部あります。

(注2) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

(単位：千円)

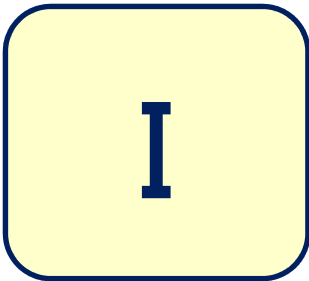
	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	増減額	前期比
流動資産	2,570,229	2,438,226	△130,002	94.9%
固定資産	2,698,912	2,813,130	114,218	104.2%
資産合計	5,269,141	5,251,357	△17,784	99.7%
流動負債	526,243	439,519	△86,723	83.5%
固定負債	516,664	510,713	△5,950	98.8%
負債合計	1,042,908	950,233	△92,674	91.1%
純資産	4,226,233	4,301,124	74,890	101.8%
負債・純資産合計	5,269,141	5,251,357	△17,784	99.7%
自己資本比率	79.1%	80.7%	—	—
1株当たり純資産(BPS)	1,059.87円	1,080.35円	20.48円	101.9%
株価純資産倍率(PBR)	0.97倍	0.97倍	—	—

自己資本比率は80.7%と高水準を維持しております。

リスクモンスターグループ の評価 (東証第二部:3768)

【RM財務格付】

2018年3月期
第2四半期



【RM財務格付定義】

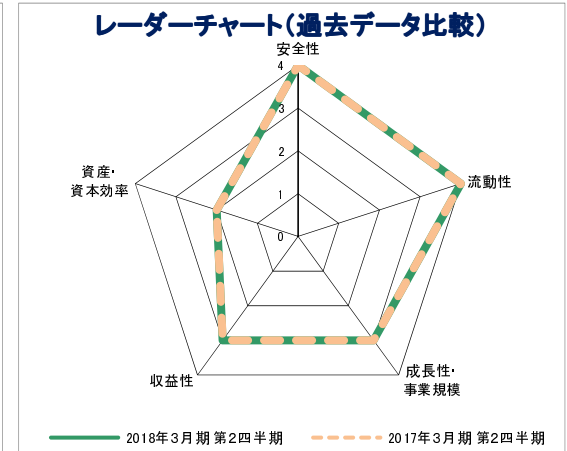
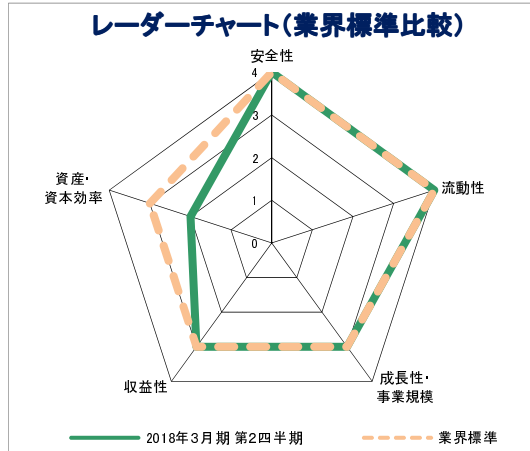
- I … 財務内容は良好です。
- II … 財務内容は概ね良好です。
- III … 財務内容にやや懸念があります。
- IV … 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】

- I … 0.1%
- II … 0.5%
- III … 1.0%
- IV … 3.0%

【RM財務格付履歴】

2018年3月期 第2四半期	2017年3月期	2016年3月期	2015年3月期
I	I	I	I
2014年3月期	2013年3月期	2012年3月期	2011年3月期
I	I	I	I
2010年3月期	2009年3月期	2008年3月期	2007年3月期
I	I	I	I



安全性	2018年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆ ☆
	2017年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆ ☆
自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
実質自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入金利率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入返済年数	☆ ☆ ☆ ☆	

流動性	2018年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆ ☆
	2017年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆ ☆
流動比率	☆ ☆ ☆ ☆	
当座比率	☆ ☆ ☆ ☆	
現預金回転期間	☆ ☆ ☆ ☆	
手形割引率		

収益性	2018年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆
	2017年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆
売上高経常利益率	☆ ☆ ☆ ☆	
経常収支比率	☆ ☆ ☆ ☆	
ROA(総資産利益率)	☆ ☆	

成長性・ 事業規模	2018年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆
	2017年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆
売上高増減率	☆ ☆ ☆	
売上高規模	☆ ☆ ☆	
経常利益増減率	☆ ☆ ☆	

資産・ 資本効率	2018年3月期 第2四半期	☆ ☆
	2017年3月期 第2四半期	☆ ☆
売掛債権回転期間	☆ ☆ ☆	
棚卸資産回転期間	☆ ☆ ☆	
総資産回転率	☆	

※ 実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※ ☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。
☆が表示されない項目は、評価対象外です。
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

※ ROAおよび総資産回転率は、それぞれ連結業績予想値で算出しています。

総合評価	財政状態は良好で、財務面においては高い信用力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本調達力は安定しており、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金調達力も見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、相応の収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2018年3月期第2四半期連結決算におけるRM財務格付は、I～IVの4段階中、最高位の「I」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、業績が順調に推移したことに伴い、純資産額は2017年3月期に比べ、約75百万円の積み上げとなっており、自己資本比率としては前期79.1%から80.7%に1.6ポイント上昇した。

借入金に関しては、2017年3月期から約30百万円の減少となり、事業収益を償還原資とみた場合の借入返済年数も3年以内に収まっているなど、安全性に関しては、依然として非常に高い水準となっている。

流動性に関しては、現預金が前期から約200百万円減少し、現預金回転期間は7.7ヵ月（前期9.1ヵ月）と1.4ヵ月の低下となったものの、流動比率554.7%（前期488.4%）、当座比率533.8%（前期475.0%）と引き続き十分な資金余力を有している。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年同期比105.5%の増収推移となっている。これは、与信管理サービスや教育関連事業等を含むその他サービスが堅調に推移したことによるものである。

また、利益面においても、売上高経常利益率は15.5%（前年同期）から15.9%（当期）へ、売上高四半期純利益率では、10.0%（前年同期）から10.3%（当期）へと高い水準を維持しつつ、更なる向上となった。

収益効率は、非常に高い水準にあることから、今後も引き続き収益確保に懸念は少ないものと考えられる。

通期連結業績予想においては、現状で業績予想修正はなく、前期に引き続き安定的な推移が見込まれる。

(単位：千円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減額
営業活動	334,299	151,278	△183,021
投資活動	△121,876	△172,545	△50,669
財務活動	△69,725	△183,691	△113,965
現金に係る 換算差額	△3,061	375	3,436
現金増減額	139,636	△204,583	△344,219
現期首残金高	1,892,544	2,030,367	137,823
現期末残金高	2,032,180	1,825,784	△206,396

◆営業活動

税金等調整前四半期純利益	225,544
減価償却費	147,702
売上債権の増加額	△51,075
未払消費税等の支払額を含む その他の減少額	△54,048
法人税等の支払額	△102,385

◆投資活動

有形固定資産の取得による支出	△26,559
無形固定資産の取得による支出	△140,122
投資有価証券の取得による支出	△26,378

◆財務活動

自己株式の処分による収入	83,922
自己株式の取得による支出	△186,196
配当金の支払額	△50,930
長期借入金の返済による支出	△30,080

リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン **RismonG-20** 策定（2016年～2020年）

[キーワード]

一人前の会社になる

1. 与信管理業界におけるリーダーとなる。
2. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供する。
3. 既存事業の収益を安定成長させながら、継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。
4. 新規事業、海外事業に積極的に挑戦する。

「第5次 中期経営計画（2016年～2018年度）」策定



- ◆ 長期ビジョン(2011～2015)を継続
- ◆ 経常利益、ROE等について具体的な目標設定

① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

② 投資

営業キャッシュ・フロー内での運用の中で既存サービスの品質及び顧客満足度を高める投資やセキュリティ強化の投資を行うとともに、新サービスに積極的に投資をする。

③ 資本業務提携

当社グループの中長期的戦略に合致し、企業価値向上に資することが見込まれる案件について引き続き資本業務提携を検討する。

④ 株主還元

配当性向30%、総還元性向60%を目安に継続的かつ安定的な配当を目指す。

	方針	狙い
① 与信管理サービス事業 	BPOサービス事業での業務請負運営ノウハウ及びシステムの管理運営ノウハウを総合する。	会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)となり、与信管理業界におけるリーダーを目指す。
	収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮する。	限界利益率の向上を図る。
② ビジネスポータル事業 	事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化する。	安定成長を目指す。
	ポータル事業としての深化と強化を実現する。	サービスの浸透度を深める。
③ BPOサービス事業 	国内外センター再編を実現し、採算管理及び納期管理を徹底する。	グループ全体のコスト削減に貢献する。
	業務請負からコンサルサービスへ転換する。	グループのシナジー効果を追求する。
④ その他事業 	◆ 教育関連事業 新規開発投資の継続と事業の挺入れを行う。	継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力する。
	◆ 海外事業 グループ商材の海外での拡販やシステム受託を進める。	
	◆ 新規事業 周辺サービス、フィンテック企業との連携など新規事業につながるアライアンスや資本提携を積極的に行う。	

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 予想	差額	進捗率
売上高	1,423	2,800	1,376	50.8%
営業利益	218	395	176	55.3%
経常利益	225	400	174	56.5%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	142	255	112	55.9%
1株当たり 当期(四半期)純利益(EPS)	36.65円	65.26円	28.61円	56.2%

売上高は当初の予定どおり、
利益は、主力の与信管理サービス等の利益増加が寄与し、当初の予定を上回って進捗。

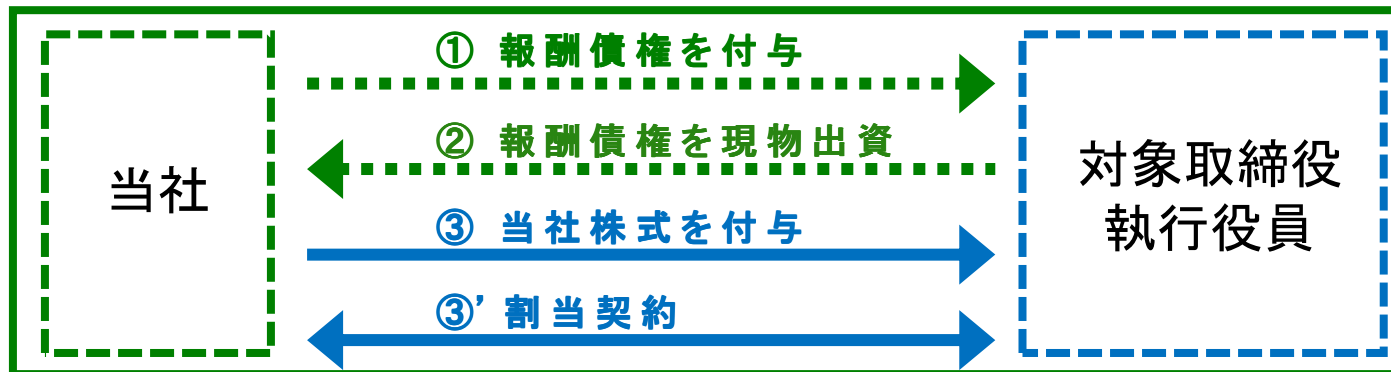
※ 前期に引き続き、「第5次中期経営計画(2016～2018年度)」の利益計画を前倒しで達成すべく、
グループ一丸となって取り組んでまいります。

※ 現時点において通期の業績予想に変更はありませんが、今後の業績の動向により修正が必要と判断した場合には、
速やかに公表いたします。

譲渡制限付株式報酬制度導入の理由

- ◆ コーポレートガバナンス・コードの要請
- ◆ 企業価値の持続的な向上を図るインセンティブ
- ◆ 株主の皆様との一層の価値共有

譲渡制限付株式報酬制度の概要



割当契約の概要

一定期間の譲渡、担保設定等の処分を制限。

譲渡制限期間中の辞任等の場合に無償取得。

譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分について

- ◆ 対象者および割り当て株式数 : 業務執行取締役(1名) 12,000 株
執行役員(4名) 16,000 株
- ◆ 処分株式数 : 普通株式 28,000 株
- ◆ 処分価額 : 1株につき 988 円
- ◆ 処分総額 : 27,664,000 円

自己株式の取得

機動的な資本政策を実施することで資本効率の向上を図り、株主の皆様への利益還元を実現するため、自己株式の取得を実施いたしました。

2017年3月15日開催 取締役会における決議内容

- ◆ 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- ◆ 取得し得る株式の総数 : 165,000 株 (上限)
- ◆ 株式の取得価額の総額 : 150,000,000 円 (上限)
- ◆ 取得期間 : 2017年3月16日～2017年6月30日

上記取締役会決議に基づき取得した自己株式

- ◆ 取得した株式の総数 : 150,000 株 (上限に対する取得率:90.91%)
- ◆ 取得価額の総額 : 147,424,900 円 (上限に対する取得率:98.28%)

自己株式の消却

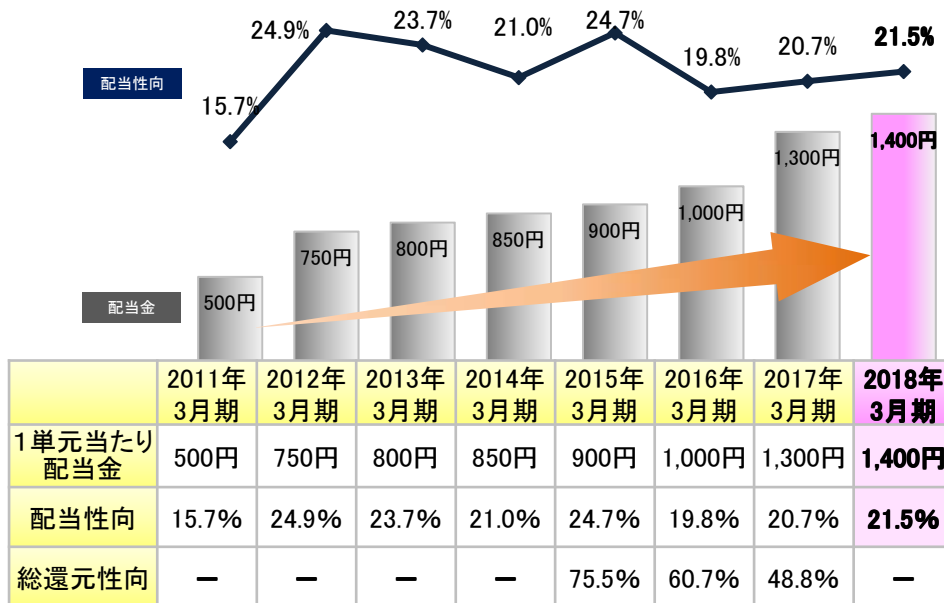
将来の株式の希薄化懸念を払拭することを目的とし、全ての自己株式を消却いたしました。

2017年9月30日時点 自己株式の保有状況

- ◆ 消却した株式の総数 : 105,000 株
- ◆ 消却後の発行済み株式総数 : 3,923,500 株
- ◆ 消却後の自己株式 : 0 株

株主還元

- ◆ 2018年3月期は当初の予定どおり1単元当たり1,400円（1株当たり 14.0円）の配当予定。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指す。
- ◆ 当長期ビジョン中に配当性向30%、総還元性向60%を目標とする。



(注) 1単元 = 100株

株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象にお好きな商品または寄付を1点お選びいただき、株主優待を実施いたします。

今年は、当社キャラクター「リスモング」をモチーフとしたオリジナル商品を選択肢に加えさせていただきました。



保有期間	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
所有株式数			
300株	当社指定 商品	1,500円 相当	2,000円 相当
500株		2,000円 相当	3,000円 相当
1,000株		3,000円 相当	4,000円 相当

第17回 定時株主総会

2017年6月27日に第17回定時株主総会と
事業説明会を実施いたしました。

東京証券取引所市場第二部へ市場変更後、
はじめての株主総会は、開催地を本店所在地に近い
日本橋に移し開催いたしました。

昨年よりも、広い会場で多くの株主様にご来場いた
だき、活発な質疑応答が行われました。



< 株主総会の様子 >

リスモンちゃんねる 配信

インターネットで閲覧できる
「リスモンちゃんねる」で当社の
IR動画を配信しております。
また、各地の人生の達人の方などに
「信用」をテーマに語っていただく
インタビュー・シリーズのPR動画配信
をはじめました。



< リスモンちゃんねる 2017 冬 撮影の様子 >

IR動画



PR動画



< 人生の達人に聞く～あなたにとって信用とは？ >



23.企業概要



(2017年9月末時点)

<p>商号 リスクモンスター株式会社</p> <p>設立 2000年9月</p> <p>代表者 代表取締役社長 藤本 太一</p> <p>資本金 1,155,993千円</p> <p>従業員数 116名(連結) 87名(単体)</p> <p>株主 株式会社東京商工リサーチ 藤本 太一 株式会社日本M&Aセンター 株式会社エヌアイデイ 株式会社オービックビジネスコンサルタント 株式会社SBI証券 テクマトリックス株式会社 ほか</p>	<p>主事業内容 与信管理サービス等 ビジネスポータルサイト BPOサービス その他サービス(教育関連事業等)</p> <p>所在地 (本社) 東京都中央区日本橋2-16-5 RMGビル (大阪支社) 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋8F (名古屋営業所) 名古屋市中村区名駅4-26-13 ちとせビル6F (九州営業所) 福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル4F</p> <p>連結子会社 リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 リスモン・マッスル・データ株式会社 日本アウトソース株式会社 サイバックス株式会社 利墨(上海)商務信息咨询有限公司</p> <p>株式市場 東京証券取引所市場第二部 証券コード 3768</p>
--	--



<http://www.riskmonster.co.jp>

【IRに関するお問い合わせ】

TEL : 03-6214-0352 (IR専用ダイヤル)

FAX : 03-6214-0431

Mail : ir@riskmonster.co.jp



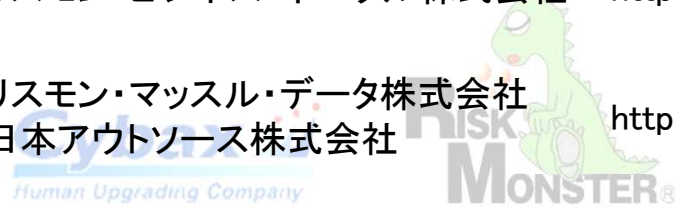
【グループ会社ホームページ】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 <https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社 <http://www.outsource.co.jp>
日本アウトソース株式会社

サイバックス株式会社 <http://www.cybaxuniv.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司 <http://www.rismon.com.cn>



リスクモンスター株式会社

■ オーディオラーニング「聴くだけで学べる ビジネスマナー」

2017年8月28日より、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、eラーニングの新サービスとなるオーディオラーニング「聴くだけで学べる ビジネスマナー」の提供を開始いたしました。

オーディオラーニングは、音声のみで受講いただく、新しいeラーニングサービスです。音声のみで学習いただきますので、移動時間などのスキマ時間を有効活用いただけます。また、倍速再生やプレイリスト再生も可能なため、受講シーンに合わせた学習が可能です。

■ コース紹介

① 「聴くだけで学べる ビジネスマナー」

本コースでは、新社会人の基本マナーから、ビジネスコミュニケーションの基礎と実践など、社会人としてまずは見につけるべきビジネスマナーを簡単に学ぶことができます。また、電話対応や応接、訪問の実践ポイントなどをご紹介いたします。

② 特長

先輩社員（女性）と新入社員（男性）の掛け合いによる学習形式です。「問いかけ」によるシンキングがあり、受講者自身に考えさせる形式です。ビジネスシーンでよくあるケースをもとに、模範例を聞いて学ぶことができます。バックにBGMが流れ、ラジオ感覚で気軽に聴くことができます。倍速再生やプレイリスト再生など、シーンに合わせた学習が可能です。



<スマートフォン・タブレット>
< 画面イメージ >



<パソコン>
< 画面イメージ >

■ サイバックスUniv. 研修一覧

階層別
管理職
新任管理職
中堅社員
若手社員
新入社員／内定者
営業／接客
製造／物流
人事
資格
全社員向け(全社共通)
IT／PCスキル
経理／財務
与信管理
キーワード・テーマ別
コンプライアンス
ビジネスのフレームワークを習得する
Officeスキルを基礎から身につける
レベルに応じたTOEIC(R)のスコアアップ

サイバックスUniv. とは ?

社員研修ポータル・eラーニング・公開研修を低価格でご利用いただける会費制の社員研修サービスです。

2017年8月 5コース追加

2017年6月 2コース追加

2017年9月 6コース追加

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

■ クラウド型勤怠管理サービス『 J-MOTTO Web勤怠 』

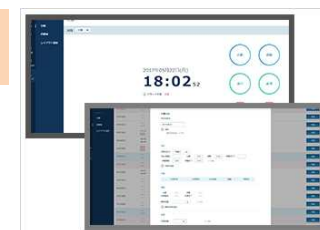
2017年6月1日より、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、クラウド型勤怠管理サービス「J-MOTTO Web勤怠」の提供を開始いたしました。

クラウド型勤怠管理サービス「J-MOTTO Web勤怠」は、シンプルなデザインと操作性で、マニュアル無しでも従業員様が簡単に利用でき、かつ人事・総務のご担当者様も導入負担が少なく、効率的に管理業務も行えるサービスです。費用も安価なことから、大幅な業務改善とコストダウンが同時に実現できます。

■ 特長

ポイント① 「誰でもすぐに使える」簡単、シンプルな画面

ブラウザでの打刻、ICカード打刻に対応しています。休暇や残業の申請も手間なく行えます。



ポイント② 管理業務を楽にする充実機能

従業員へ勤怠アラートを自動送信します。申請承認も一括で出来るので管理業務にかかる時間を大幅に削減できます。



ポイント③ マルチデバイス対応

スマホ・タブレットにも対応しています。外出先から打刻可能、スマホのGPS情報を使って位置情報を記録することもできます。

